

第154回 定時株主総会



東リ株式会社

2018年 6月 20日 午前10時

於：伊丹本社集会室

第154期 事業年度 監査報告

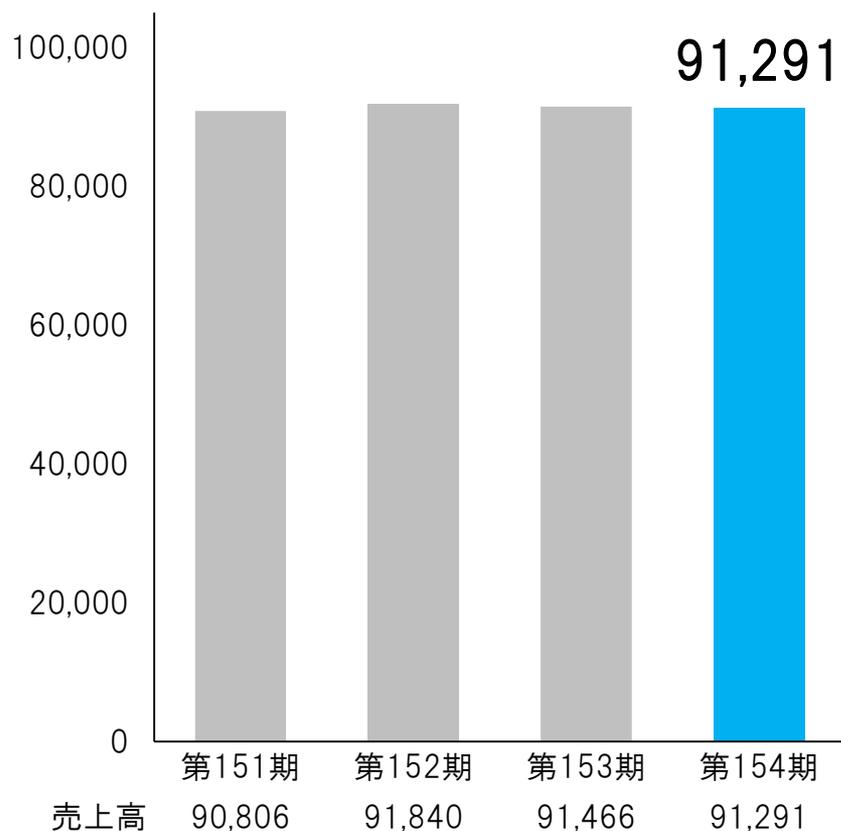
第154期 事業報告および 連結計算書類の内容報告

(連結)事業の経過および成果



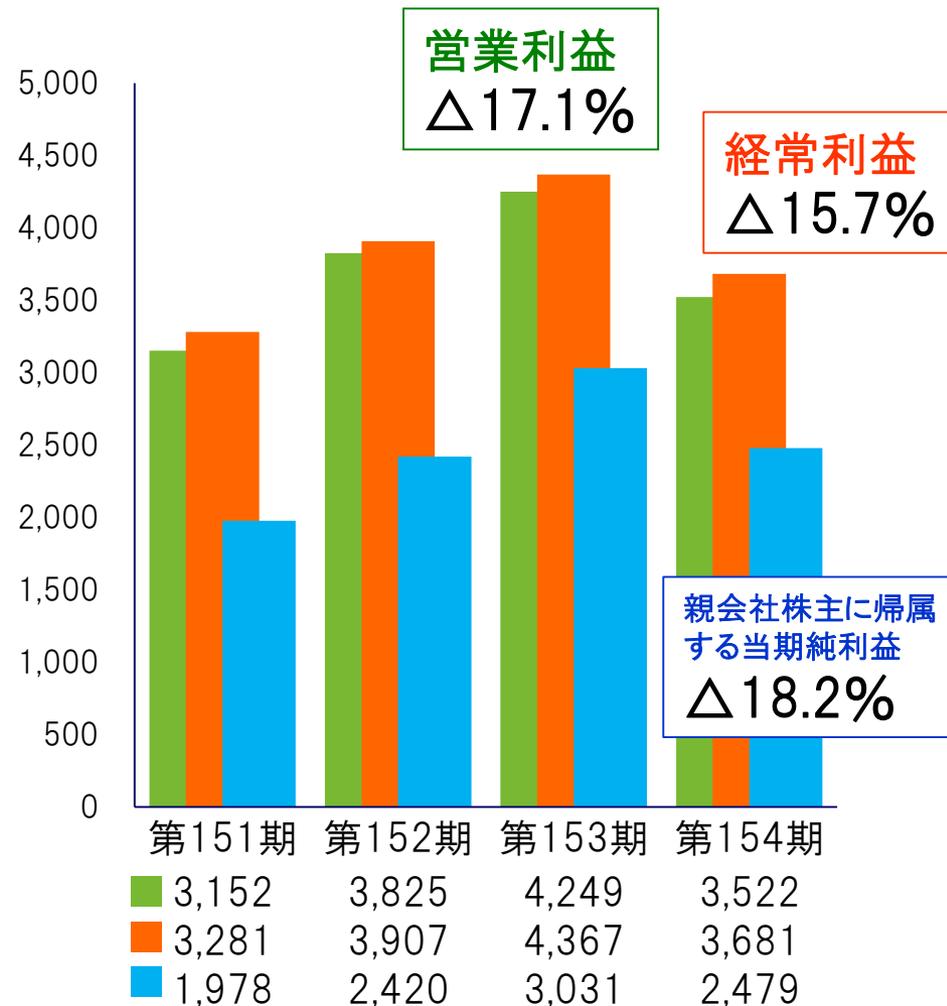
売上高の推移

(百万円)

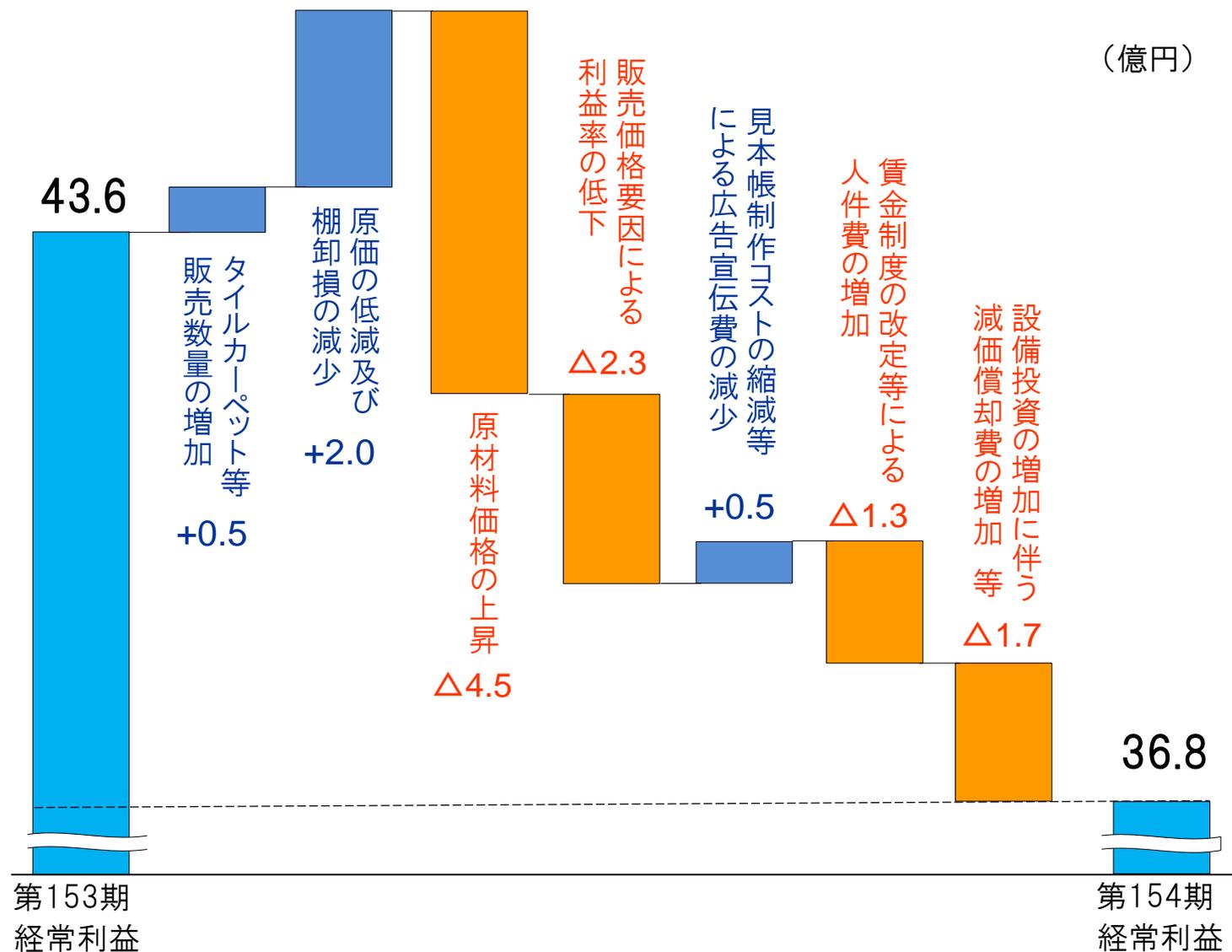


利益の推移

(百万円)

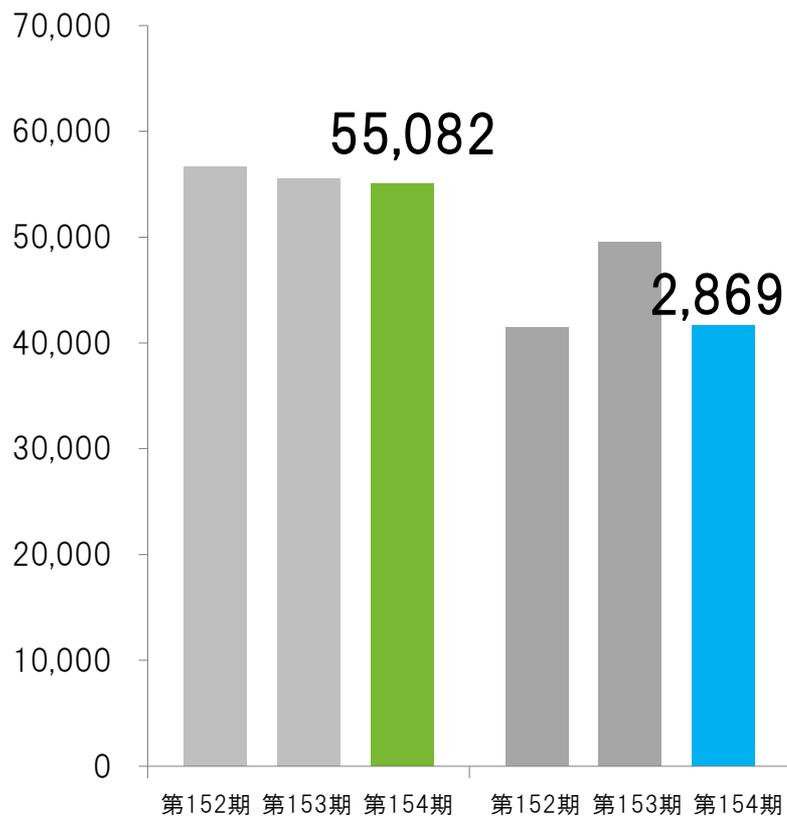


(連結)経常利益の主な増減要因



プロダクト事業

(百万円)

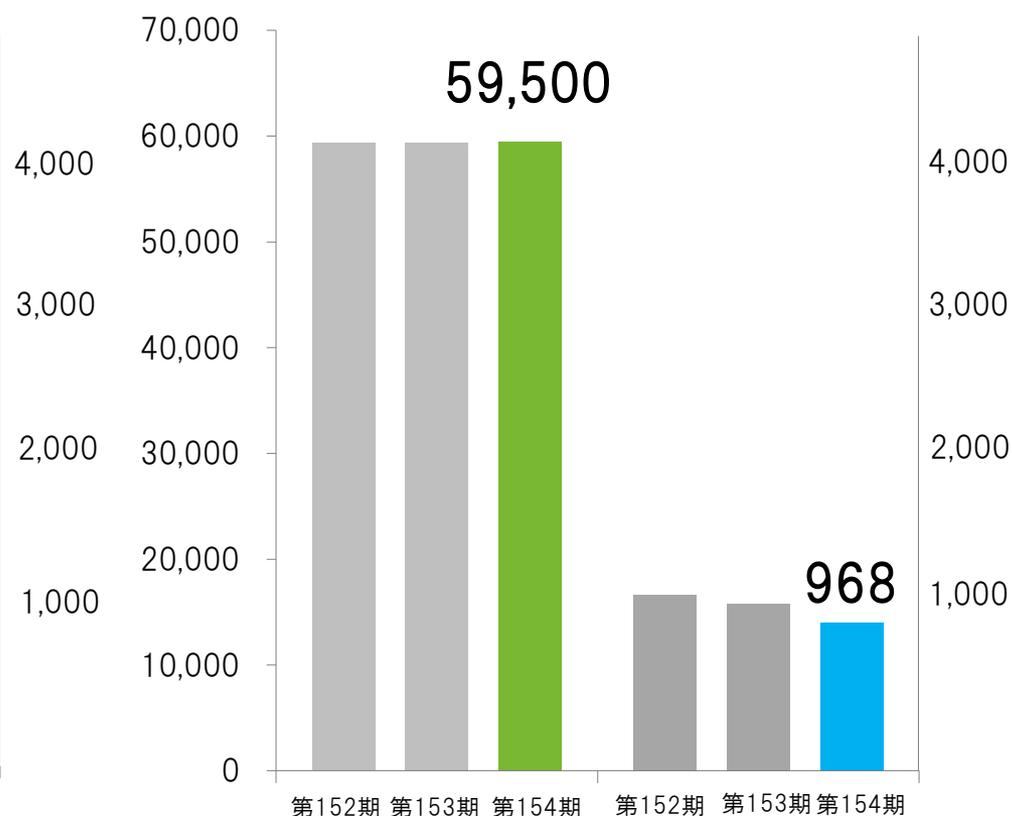


売上高

セグメント利益

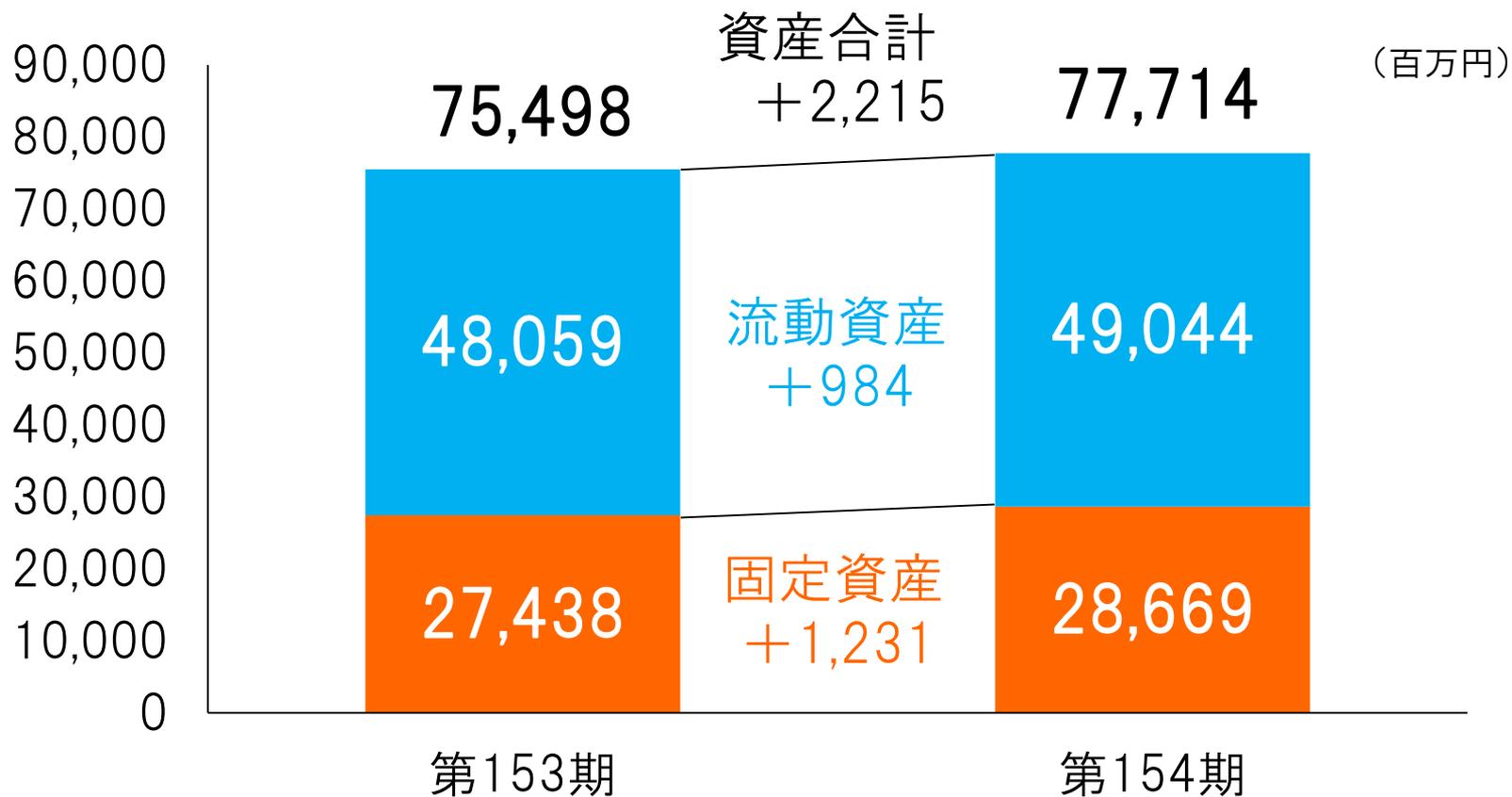
インテリア卸及び工事事業

(百万円)



売上高

セグメント利益



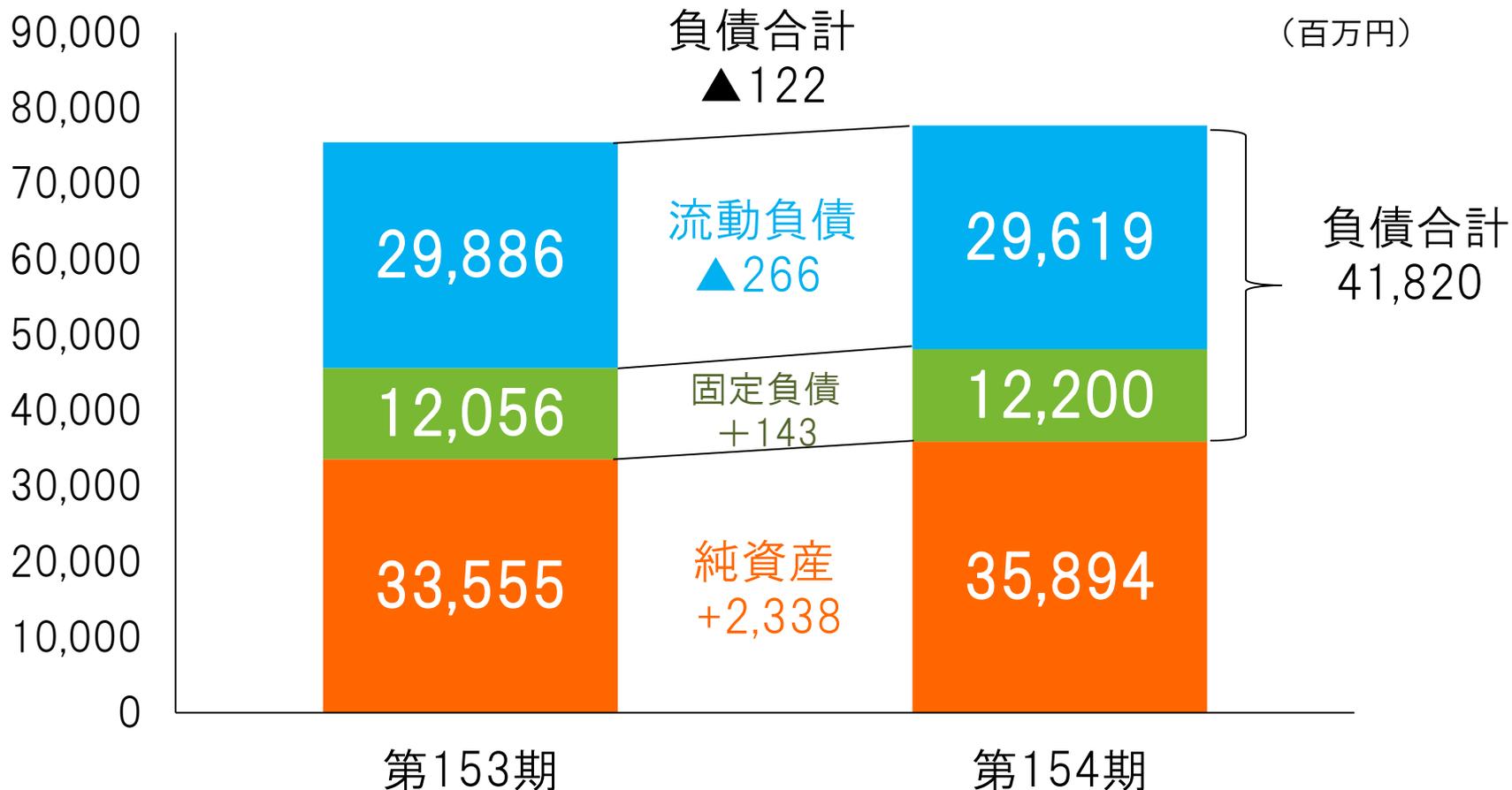
【流動資産】

- ・棚卸資産 +994
- ・受取手形及び売掛金 +1,007
- ・現金及び預金 ▲1,159

【固定資産】

- ・無形固定資産 +765
- ・有形固定資産 +432

(連結)負債の部・純資産の部



【流動負債・固定負債】

- ・短期借入金 ▲530
- ・長期借入金 +400

【純資産】

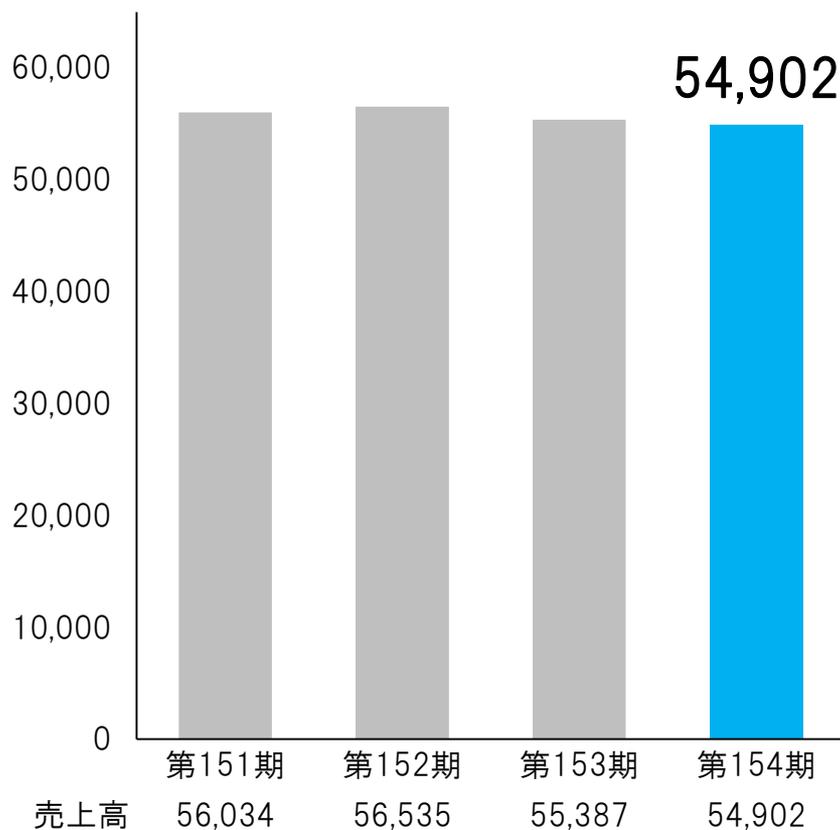
- ・利益剰余金 +1,869
- ・その他有価証券評価差額金 +301

(単体)事業の経過および成果



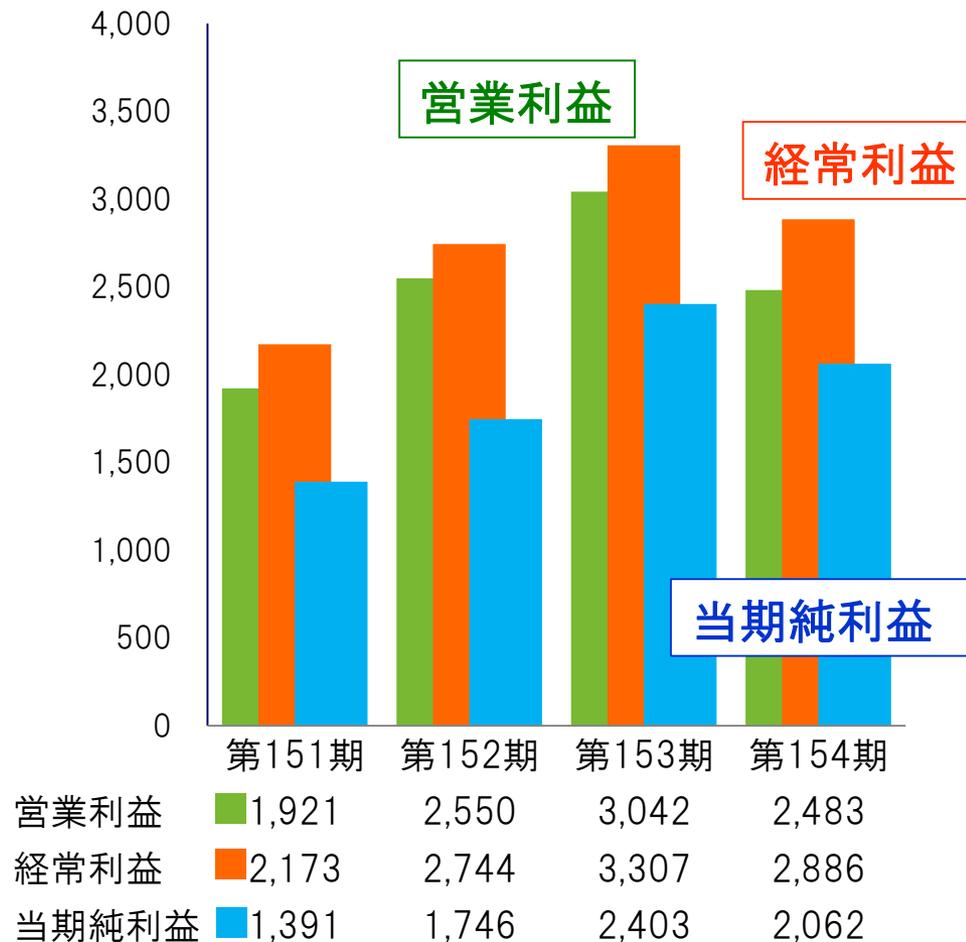
売上高の推移

(百万円)



利益の推移

(百万円)



対処すべき課題

『SHINKA-100』

(フェーズⅠ)2015-17年度 / (フェーズⅡ)2018-20年度

目まぐるしく変化する経営環境に対応すべく、フレキシビリティと強靭さを兼ね備えた事業構造への変革を目指す。

2019年の東リ『創業百年』に向けて、成長戦略と事業基盤強化を推し進め、「百年の先」に向けた更なる発展性を追求する。

※概要・進捗は17頁以降を参照

多様な人材が能力を最大限に発揮 できるための取り組み

◇教育研修の充実

- ・グローバル研修の実施
- ・通信教育による自己啓発

◇ダイバーシティの推進

性別、年齢、スキル、国籍やライフスタイルの多様化に対応した制度と運用の仕組みの整備

- ・女性従業員の職位者への登用(2018年 9名 女性比率8.3%)
- ・女性職位者の部長職への登用(2018年 2名)
- ・外国籍社員の採用(2018年 2名)
- ・非正規社員の雇用転換によるキャリアアップ(2018年 25名)

環境負荷低減に向けた 取り組みの促進

□環境・化学物質に関する諸法規・諸規制の順守

- ◇使用原材料の多面的研究
- ◇リサイクル技術の進化
- ◇NWシリーズの拡充(メンテナンス省力化)
- ◇商品の軽量化(輸送時の使用エネルギー、CO₂排出量削減)
- ◇生産プロセスでの省エネ技術導入



未来志向を高めた基礎的分野における技術研究の推進

独立社外役員の活動状況

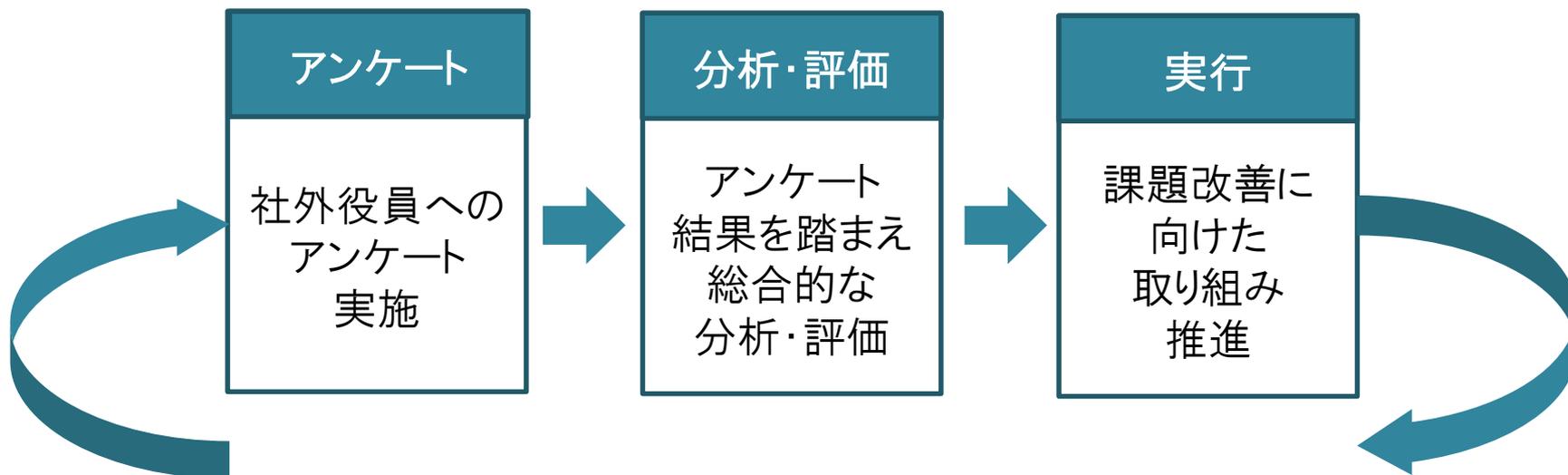
- ◇ 各常勤取締役とのミーティングの開催(5回)
- ◇ 監査法人による監査報告会への参加(3回)
- ◇ 工場見学会の実施(2017年10月 岐阜事業所)
- ◇ 新製品展示会・JAPANTEX2017出席
- ◇ 独立社外役員を中心とする意見交換会の開催

取締役会の実効性向上への取り組み

□ 指名・報酬委員会の設置(2017年11月)

- ・過半数を独立社外役員で構成
- ・取締役報酬額、取締役・監査役・執行役員候補者の指名・昇任等への答申

□ 取締役会の実効性に関する分析・評価



取締役会の実効性に関する分析・評価

□ 結果概要

分析・評価項目	分析・評価結果	
構成・規模	○	人数・構成は妥当
情報提供	○	経営会議資料の充実及び配付等、情報格差が生じないように配慮
審議環境	○	十分な時間を確保、「指名・報酬委員会」を設置し事前審議
開催頻度・付議案件	◎	開催頻度は適切、審議項目の適正化推進

□ 独立社外役員の意見

- ・社内役員とは情報量に相当な差異がある
- ・議論の背景等がわかりにくい

□ 今後の課題

独立社外役員の理解促進の為に、配付資料やその説明手法の恒常的な工夫・改善を進めていく

東リグループ

中期経営計画『SHINKA-100』

(フェーズⅠ：2015～2017年度／フェーズⅡ：2018～2020年度)

中期経営計画『SHINKA-100』(6カ年)

フェーズⅠ(3カ年)

フェーズⅡ(3カ年)

2015
年度

2016
年度

2017
年度

2018
年度

2019
年度

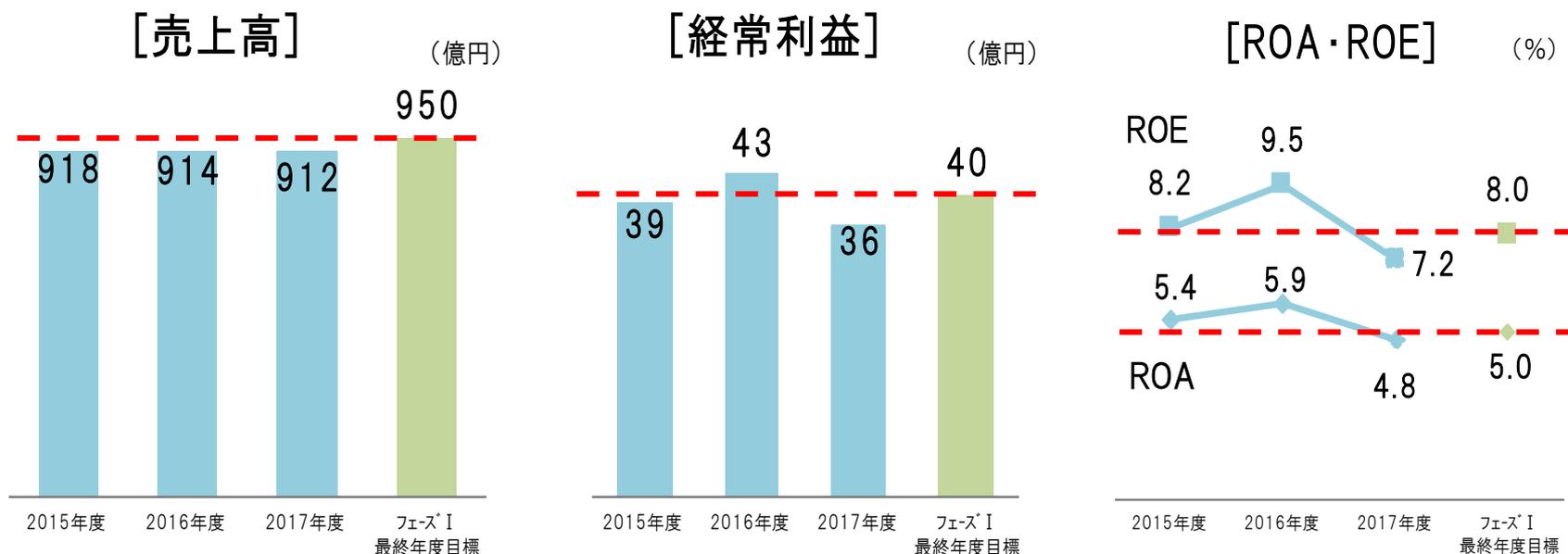
2020
年度



『創業百年』

■ フェーズⅠ期間内の実績

◇ 連結経営指標



ROA：総資産経常利益率
ROE：自己資本純利益率

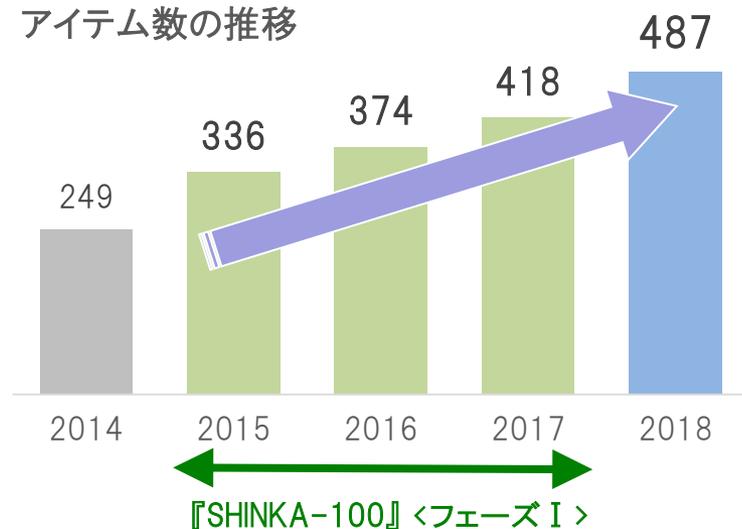
- ・ 売上高目標については、3カ年を通じ未達
- ・ 2年目(2016年度)に経常利益・ROA・ROEの3つの指標で目標水準に達するものの最終年度では未達

■ フェーズ I 期間内の主な成果 ①

◇ 独自商品の拡大

- ⇒ ワックスメンテナンス不要な床材「NWシリーズ」の拡充
- ⇒ 「不燃腰壁シート」の開発
- ⇒ 新継ぎ目接着工法「ジョイントシールド工法」の開発(特許出願中)

NWシリーズ
アイテム数の推移

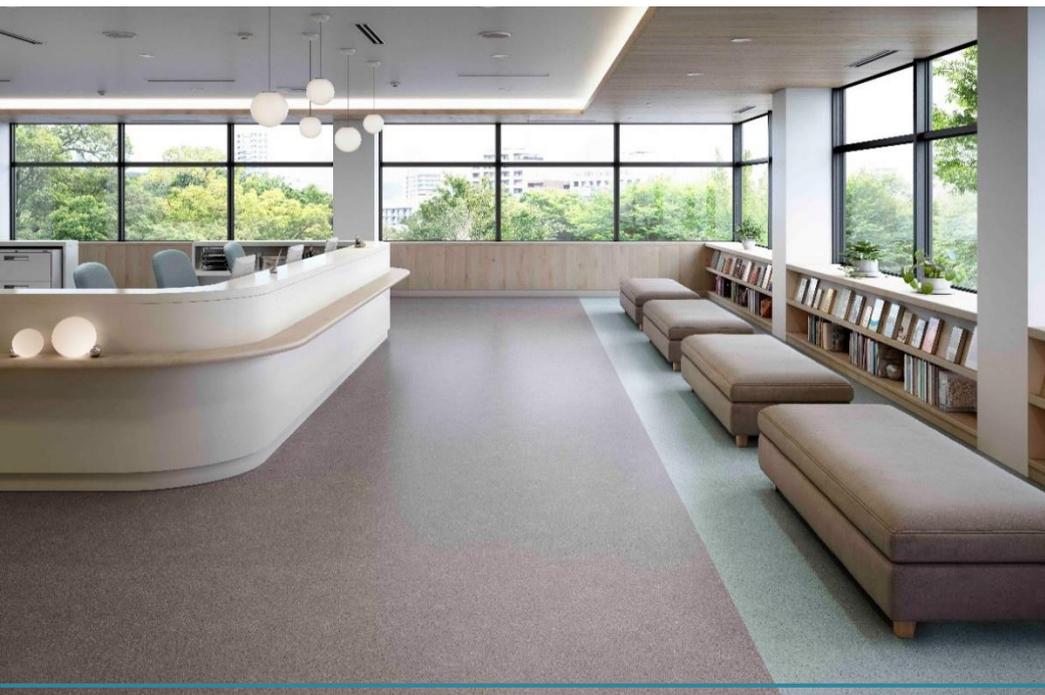


■ フェーズⅠ期間内の主な成果 ①-2

◇ 独自商品の拡大

⇒ 高意匠単層ビニル床シート「ヒトエ グランザ」「ヒトエ ファイン」の開発
(2018年6月20日発売)

【ヒトエ】そのものだけであること。重なっていないこと。漢字で書くと『単』。



- ・本格的な品揃えとしては国産初の単層ビニル床シート
- ・当社独自の生産ラインで開発
- ・優れた機能と独自性に富んだ意匠

■ フェーズ I 期間内の主な成果 ②

◇次世代を支える基幹商品の開発・発売

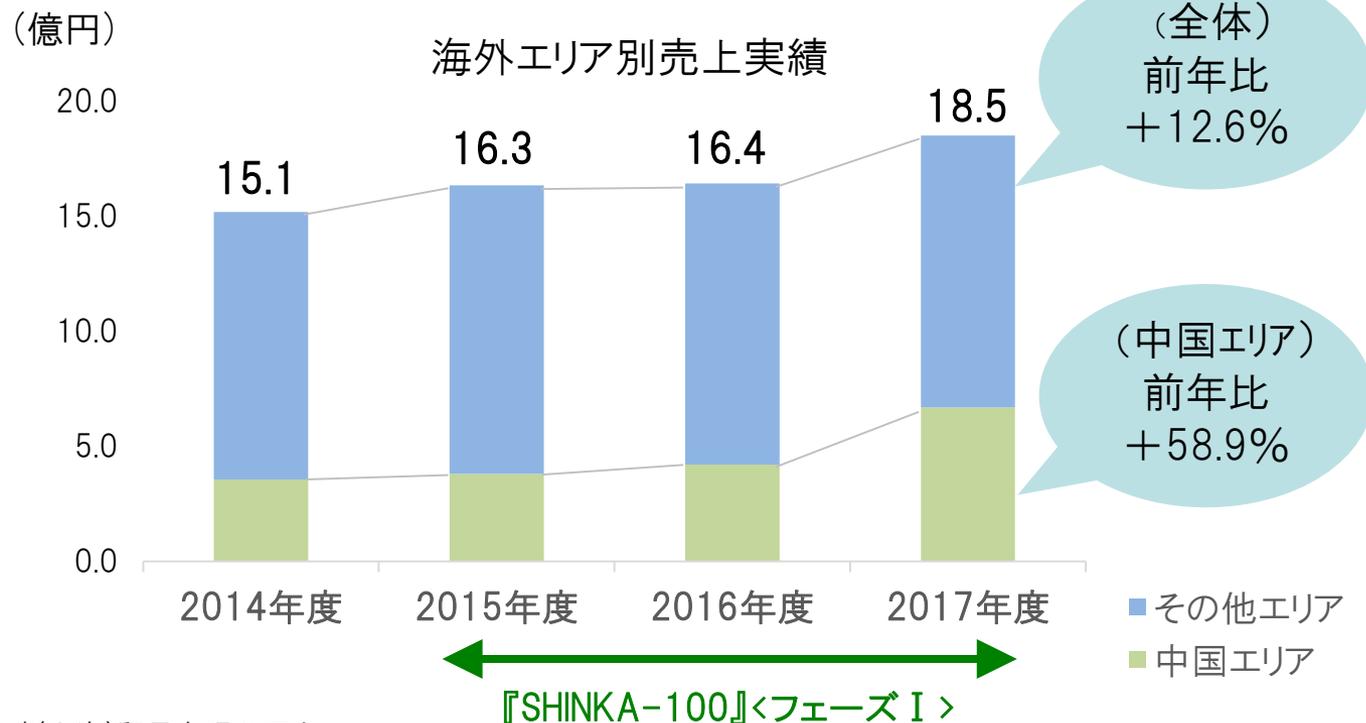
- ⇒ 新タイルカーペット「GA-100T」の開発・発売
汎用品の枠を超えたボリューム感と質感の高さが特長



■ フェーズ I 期間内の主な成果 ③

◇ 東璃(上海)貿易有限公司の売上拡大

⇒ 現地法人設立による着実な市場浸透



※ 2017年度より東璃(上海)貿易有限公司を連結の範囲に含めております。

■ フェーズⅡへの積み残し課題

- ◇ 種まき営業活動の拡大
- ◇ 市場別販売戦略の実践
- ◇ 業際市場に向けた商品開発
- ◇ 海外市場対応商品の開発
- ◇ 更なる利益体質への取り組み

フェーズⅠにおける成果と反省をふまえ、
フェーズⅡでは、**未来志向を高めた**成長戦略を推進

東リグループ

中期経営計画『SHINKA-100』

(フェーズⅠ：2015～2017年度／フェーズⅡ：2018～2020年度)

中期経営計画『SHINKA-100』(6カ年)

フェーズⅠ(3カ年)

フェーズⅡ(3カ年)

2015
年度

2016
年度

2017
年度

2018
年度

2019
年度

2020
年度

『創業百年』

■ 『SHINKA-100』フェーズⅡの位置づけ

- ◇ 2019年度に『創業百年』を迎える
- ◇ 「百年の先」に向けた更なる発展性を追求

■ 東リグループが目指す姿

- ◇ コア事業（床材事業とカーペット事業）の再強化
- ◇ “明日の成長エンジン”を育む
- ◇ 事業基盤の整備強化

■ 重点戦略

“3つの「SHINKA」”フェーズⅡ

①「進化」 ～コア事業の進展と創造～

②「深化」 ～深掘りによる成長性の追求～

③「真価」 ～成長と信頼を支える事業基盤の強化～

3つの「SHINKA」を更にバージョンアップ
新たな取り組み課題を加え、成長戦略を明確に描く

■ 重点戦略

①「進化」 ～コア事業の進展と創造～

◇フェーズⅠで推し進めたコア事業の成長戦略を更に進化させると共に、「百年の先」を見据えたハードルの高い技術開発に挑戦し、事業領域の拡大によるコア事業の創造を図る。

取り
組み
テーマ

- ◎ 技術研究・製品開発の強化
- ◎ 商品力のレベルアップ
- ◎ 生産拠点・物流体制の最適化実現
- ◎ 業際事業探索活動の推進
- ◎ 商品提案力の強化

■ 重点戦略

②「深化」 ～深掘りによる成長性の追求～

◇成長戦略を更に深掘りし、質的・量的拡大を図る。10億円プロジェクトや海外事業など、“明日の成長エンジン”を育み、力強い事業構造へと変革していく。

取り
組み
テーマ

- ◎ 10億円プロジェクトの推進
- ◎ 海外事業の拡大
- ◎ CR(コーポレート・リレーション)活動の強化推進
- ◎ 壁装材事業の深化
- ◎ カーテン事業の再建

■ 重点戦略

③「真価」 ～成長と信頼を支える事業基盤の強化～

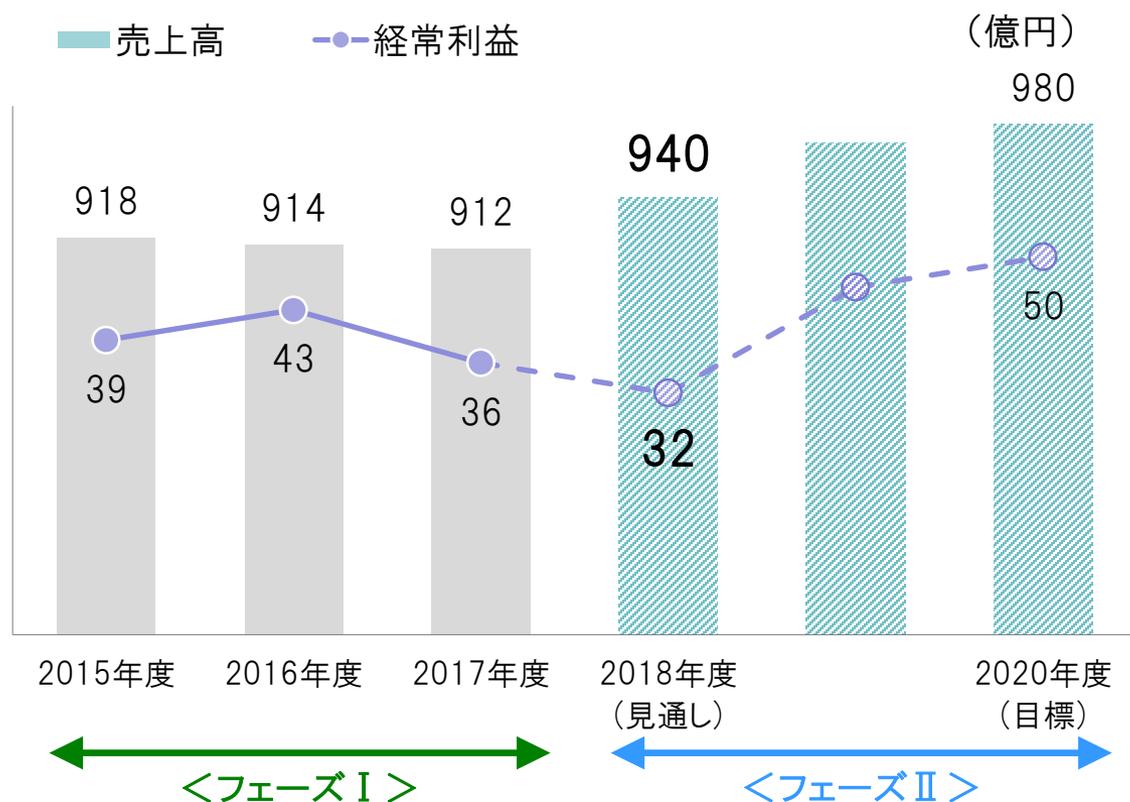
◇事業の成長と発展に向けて、ブランド力や品質への信頼を高めながら、あらゆる面での効率化を図り、より筋肉質な企業グループを構築し、事業推進力を高めていく。

取り
組み
テーマ

- ◎ 製造原価率圧縮への挑戦
- ◎ 人材育成
- ◎ 企業価値の向上
- ◎ 業務改善の実現とIT進化への対応
- ◎ SCM強化とBCP推進

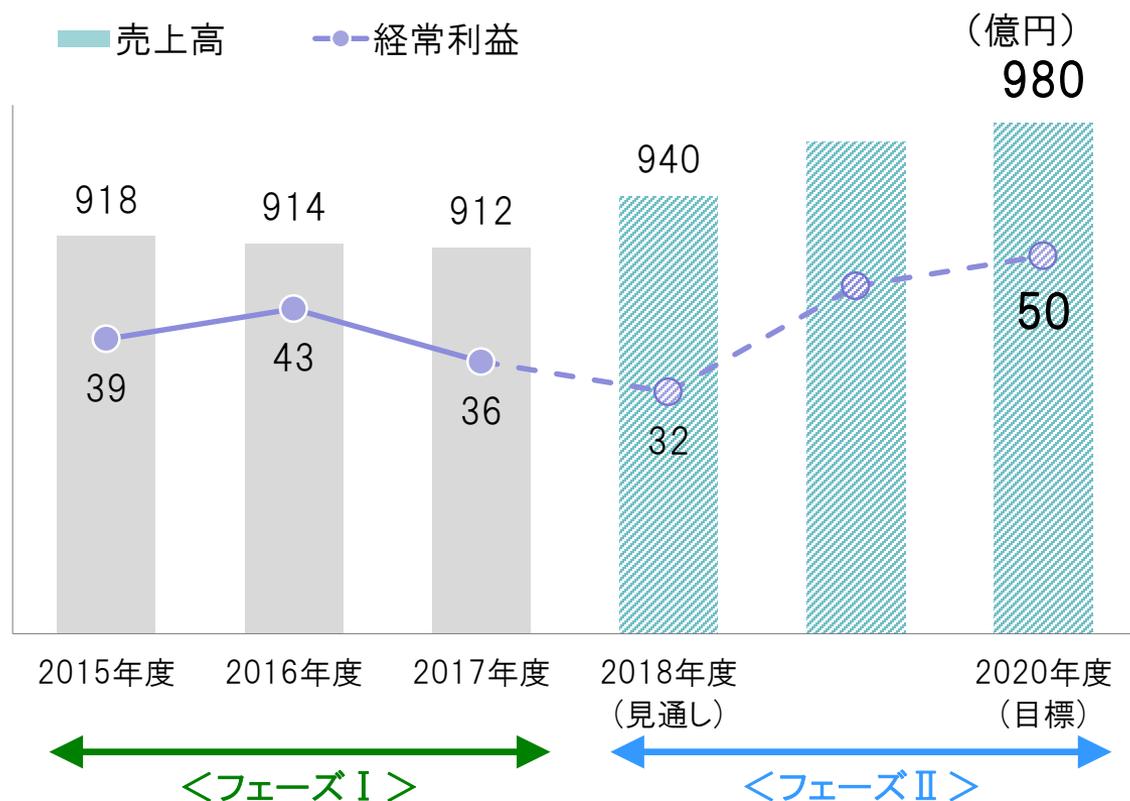
■ 2018年度 連結業績見通し

売上高	940億円	経常利益	32億円
前期比	+3.0%	前期比	△13.1%



■ 連結経営指標(2020年度)

売上高	980億円	経常利益	50億円
ROA	6.0%以上	ROE	8.5%以上



議案審議

(1) 配当財産の種類 : 金銭

(2) 1株当たり配当額 : 8円

配当の総額 : 493,511,464 円

※中間配当金 2円を含め、年間配当金 10円

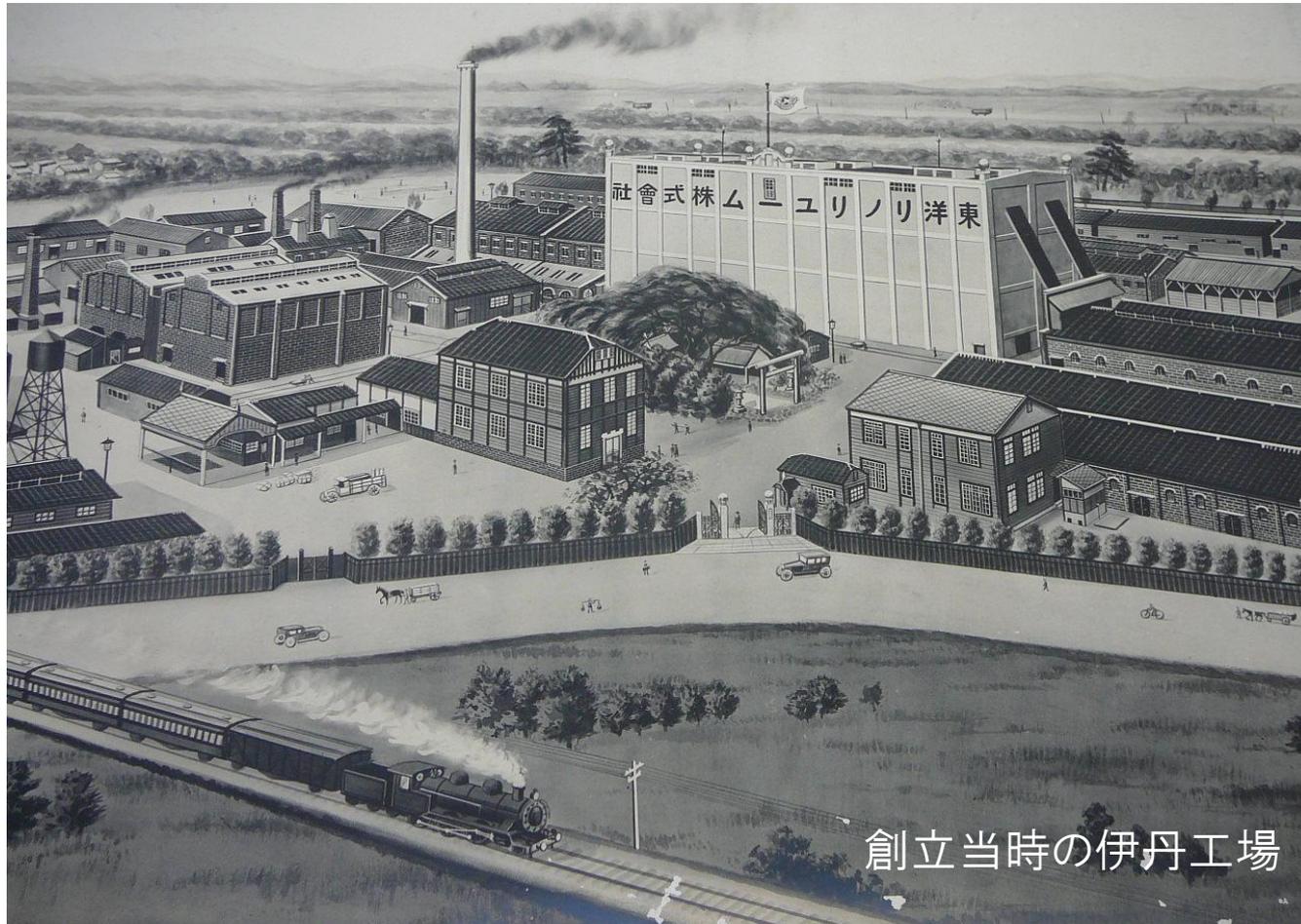
(3) 効力発生日 : 2018年6月21日

取締役候補者

永嶋	元博
安嶋	二郎
橋本	昌幸
横田	絵理



第154回 定時株主総会



ありがとうございました

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。